



東陽の旋風 かぜ ～自律協働貢献～

令和6年7月5日（金）No 14 発行
文責：松本 卓也

確かな学力の育成に向けて Part2 ～学習状況調査編～

5月にi-Check（総合質問紙調査）を実施しました。i-Checkとは、「自己肯定感」や「ソーシャルスキル」などの様々な視点で、子どもの個性や背景、今の心のありようを、立体的に描き出す調査です。子どもたち一人ひとりが自分を大切に思っているか、クラスの間関係、いじめの実態、悩みなど、表出しにくい様々な情報を可視化することで、子どもをより深く理解したり、学級経営の改善に生かしたりするために活用されます。八代管内では、これまで課題が大きかった生活・学習習慣に関する6つの項目（八代の指標：①学習習慣、②学級の規範意識、③発信力 熊本の指標：①学習習慣、②理解度、③学習意欲）について、すべての学校で課題意識を共有し、学力向上に向けた取組を推進することが求められています。東陽中の子どもたちの調査結果は、次の通りです。



第3カテゴリー	質問	1年	2年	3年
【学習習慣】 八代①	学校の授業以外で、週に何日くらい勉強していますか。 ※ほぼ毎日	76.9 △	81.8 △	50.0 △
【学習習慣】 県①	勉強するときは自分で計画を立てていますか。 ※肯定値	92.3 △	72.7 △	78.5 △
【規範意識】 八代②	クラスの人がふざけたり、おしゃべりをしたりして、授業に集中できないことがありますか。※良好な回答	61.6 △	100 △	50.0 ▼
【発信力】 八代③	あなたは、学校生活の中で何回ぐらい、自分の意見を発表したり、先生の質問に答えたりしていますか。	61.6 △	45.5 △	57.2 △
【理解度】 県②	授業の内容はよくわかりますか。（国語） 授業の内容はよくわかりますか。（数学） 授業の内容はよくわかりますか。（英語） ※肯定値	県独自の質問項目のため、今回の調査に該当項目なし		
【学習意欲】 県③	授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいると思いますか。 ※肯定値			

※全国肯定値に対し、「プラスを△、マイナスを▼」で表示

「学習習慣」「規範意識」「発信力」のどのカテゴリーにおいても、肯定的な回答が多くみられました。なかでも、「学校の授業以外で、週に何日くらい勉強していますか。」「あなたは、学校生活の中で何回ぐらい、自分の意見を発表したり、先生の質問に答えたりしていますか。」の質問項目に対しては、全国肯定値に対して2.0倍以上の非常に高い肯定値でした。学習習慣の形成（家庭学習の習慣化）では、保護者の皆様の側面からの支援（ペースメーカー・サポーター・ファシリテーター ※詳細は裏面参照）に感謝します。一方、3年生の「規範意識」が課題です。安心して学べる学習環境の構築を推進するため、①学習規律を再度徹底する（個別学習と協働学習のメリハリ）、②「ここ分からないから教えて。」「いいよ。これはね・・・。」との学び合いが生まれる人間関係を育てる（なかまづくり）、以上の取組をこれまで以上に進めていきます。ご家庭でもお子様の授業中のようすについて話題にさせていただければ幸いです。

相手のことを深く知る力を身につけてください ～親子教育講演会～

6月28日（金）、「SNS利用に係るトラブルの現状 SNS利用に係る犯罪被害防止」のテーマで親子教育講演会を開催しました。多くの保護者の皆様にご参加いただき、ありがとうございました。講師は、八代市役所市長公室理事のK様。熊本県警の警部として刑事課長、県警本部特捜班長を歴任され、もともと、SNSによるトラブル（いじめ、個人情報流出・炎上、他者への誹謗中傷、犯罪被害）の現状をわかりやすく説明していただき、誰にでも起こりうる身近な問題として危険性を認識することができました。講話の最後に、「相手のことを深く知る力を身につけてください。SNSではわからない、奥行きを知った人対人のコミュニケーションが必要です。こんな時代だからこそ、現代人に求められるコミュニケーションではないのでしょうか？」とのメッセージをいただきました。相手のことを表面的に見るのではなく、思いや背景まで知ることが大事なことで、改めて学ぶことができました。学校、家庭、地域、子どもたちと、それぞれの立場から正しいSNSの利用を考えていきたいと思ひます。



※ご意見や感想をお待ちしています。「見ました」の一言でも構いません。

保護者名（ ）

学習習慣の形成（家庭学習の習慣化）を図るために、以下の取組をご家庭と連携して取り組みます。

